学部共通

								学部共通			
科目区分		教育科目 文化と生活					聴講	可			
授業科目名	群馬	県民の文化と生活		科目履		否	単位互換	否			
科目番号		1 0 0 1				(学	部合同)				
授業形式	講義		必修選		必修						
開講時期		次前期セメスター	単	位	2 単位		30 時間				
科目責任者	石川		その	他							
担当教員		岡正信、町田悟、髙橋洋一、熊倉浩靖、田中修本学の在る群馬県の人々の生活とその生活の中で産まれ・継承されてきた文化の特徴を学									
授業の概要	,										
1文表の似安			この過程を通し、地域の特徴がその地域の生活様式や文化にどのように影響 、人間の持つ文化的背景や生活様式の多様性を受け入れ尊重する意義を学習								
	本学の在る群馬県の人々の生活とその生活の中で産まれ・継承されてきた文化の特徴と人										
	間の持つ文化的背景や生活様式の多様性を受け入れ尊重する意義を学習する。										
学科目的	1. 埋蔵文化財の特徴を通して、群馬県の歴史と文化を講義する。										
学科目標	2. 群馬県の自然の特色とその風土に育まれてきた産業の特色について講義する。										
	3.	心の文学である俳句の世界を通して捉	えた群馬	県民のこ	文化と	生活	について講	養する。			
	4.										
					授	栾	事前·事後				
授業の内容と方法	口	授業内容			形		学習(学習	担当			
							課題)				
		4/15《オリエンテーション》			講	髮		石川			
	1	・本科目のねらいとは						田中			
		《特別講義》									
		・60 分でわかる「現在の群馬」 4/23《旧石器時代人の行動》			_			桜岡			
	2	・旧石器時代研究の端緒となった岩		の発見じ	,			汝叫			
		降、多くの旧石器時代遺跡の調査を									
	_	の黎明期がどのように明らかに									
		を考える。									
	3	5/1《縄文土器と土偶に秘められた縄	文人のこ	ころ》							
		・ダイナミックな文様で飾られた網	1文土器	や不思議	s de						
		な造形の土偶から、縄文人の心に	こついて	考える。							
	4	5/13《東国の雄、古墳時代の群馬》									
		・東国最大・最多の古墳が築造され									
		的背景を、金井東裏遺跡などの発	· 扭調金	事例から)						
		考える。 5/20《関東の華『前橋城』》					・毎回、学				
	5	- 5/20 (関東の華 『前備媛』// - 現在の県庁は、かつて『関東の華	上 上 正	ずわた前	î		習課題				
		橋城の跡にある。この群馬を代表					を提示。				
		をたどりながら、前橋の成り立			-						
		る。									
	6	5/27《群馬県の自然環境と生活》						町田			
		・群馬県の生活・産業・文化の基にな									
		境について、高地から低地まで変									
		冬季の豪雪地帯と乾燥地帯、夏季			L						
		地など多様性に富む気候について	. ㈱観する	ఏ.							
	7	6/3《群馬県の農業の変遷》			\dashv						
		- 6/3 《群馬県の展業の変遷》 - 近世から近代・現代に至る農業生	:産の恋;	票を差型	٤						
		業を中心に考察する。また、養蚕									
		めた人物について考える。		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,							
		6/10《群馬県の商工業の発展》									
		・近世から現代に至る工業生産の発	経展を製え	糸業、絹	1						
	8	織物業を中心に考察する。あわせ			:						
		の近代化に果たした役割について	[考える。								
						1					

				1					
授業の内容と方法	9	6/17《経済社会構造の変化と群馬県の産業の現況》 ・養蚕県から野菜・畜産県に変化した農業、繊維工 業から機械工業中心に変化した工業について、日							
	9								
		本経済の停滞の中で抱えている問題を含めて考察							
		する。また世界遺産となっている「富岡製糸場と							
		網産業遺産」について考える。							
		6/24《日々の生活の中で俳句の果たす役割》		+14					
		・生活の中から詠まれた作品を紹介し、その背景を		高橋					
	1.0	考察する。							
	10	・清水寥人著「上州讃歌」より季節別に22句抄出。							
		・日本看護協会編「看護実感十七文字」より季節別に							
		20句抄出。							
		・黛まどか著「B面の夏」より季節別に20句抄出。 7/1《郷土の俳人とその作品》							
		- ・群馬県の生んだ著名な俳人の作品紹介と鑑賞							
	11	・村上鬼城、上村占魚、村越化石の代表句を各20句							
	11	・ 村 上 鬼 城、 上 村 古 庶 、 村 越 化 石 の 代表 可 を 谷 2 0 句							
		おいて、これのいまれた自身と行所人の指向寺で与宗							
		7/8《俳句の実作と課題》							
		・実作を通して俳句文学の本質を知る。							
	12	・初日に俳句の基本を学び、その理解度を知るために							
		1人2句ずつ詠み全作品を鑑賞し5段階に評価す							
		5.							
		7/15《目から鱗の群馬県理解(講義+WS形式)》							
	13	・群馬県の歴史・地名を健康科学の視点を交えて講		熊倉					
		義し、「温泉+食文化+α」で群馬をPRするア							
		イデアを課題(グループ単位)として提供。							
		7/22《目から鱗の群馬県理解(WS形式)》							
	14	・課題に対するアイデア検討(グループ単位)。							
		7/29《目から鱗の群馬県理解(WS形式)》							
	15	・アイデア発表(評価はグループ単位)。							
⇒r: /m: 1. ≥1			<u> </u>	•					
評 価 方 法	レボ	ート・提出課題による各教員の評価の平均							
教 科 書	指定	しない							
少		『「上毛かるた」で見つける群馬のすがた』群馬県							
参考書	[LT-	『「上毛かるた」ゆかりの地 文化めぐり』群馬県							
参考文献等	『群』	『群馬県謎解き散歩』新人物文庫							
備考	特に	なし							
	l .								